

質疑による評価シート

仮評価：( )月( )日
本評価：( )月( )日

班番号 ( ) 班 評価者氏名 ( )  
 ( ) 年 ( ) 組 ( ) 号 氏名 ( )

A1：読み解く

4	3	2	1
自己の研究に関連する既知の知識と、新たに得た知識を結び付けて理解することができる。	自己の研究に関連するグラフや表を読み解き、新たな知識を得ることができる。	自己の研究に関連する専門用語について調べ、新たな知識を得ることができる。	自己の研究に関連する新たな知識を得ようとしている。
← A：研究に関連する知識を得ようとしている →			
← B：研究に関連する専門用語を説明できる →			
← C：グラフや表から新たな知識を得ている →			
← D：新旧知識の関連を説明できる → (←新たに得た知識により、教科で習った知識がアップデートされている状態)			

□ 仮評価：生徒のみなさんは下の質問①～⑤にそれぞれ「はい」「いいえ」で答えてください。「はい」の場合 ( ) 内に必要事項を記入してください。

■ 本評価：質問①～⑤を面接形式で質問します。生徒のみなさんは、質問に答えられるように準備をしておきましょう。

質問	質問内容	回答（「はい」「いいえ」いずれかを選択）	
①	研究に関連する新たな知識を得るために、下記のA～Dのうち、いずれかを行いましたか。 A: 先行研究（論文や調査）を調べる B: 専門家や専門知識を持つ人に尋ねる C: 関連する本や新聞記事を読む D: 専門用語や実験（調査）方法を調べる	はい（行ったものに○） A / B / C / D	いいえ →評価0
②	研究に関連する専門用語を1つ挙げ、それを説明することができますか。	はい（専門用語： ) （説明： )	いいえ →評価1
③	研究に関連するグラフや表（関連する数値）から新たな知識を得ましたか。	はい	いいえ →評価2
④	どのようなグラフや表を調べ、そこからどんな知識を得たのか具体的に教えてください。  ( ) (出典) の、( ) (内容) に関するグラフ(表)を調べた。 分かったこと：( )		
⑤	新たに得た知識と既知の知識を関連させて説明できますか。	はい →評価4 (新たに得た知識： ) (既知の知識： ) (関連性(説明)： )	いいえ →評価3
※評価者所見：			評価  /4
※SSH 研究部所見：変更なし / 変更あり（理由： )			

【評価の流れ】 生徒が鉛筆で記入→面談にて評価者が赤で記入し、SSH 研究部に提出→SSH 研究部にて青で評価欄記入→指導担当者へ返却→生徒へ返却

質疑による評価シート

仮評価：( )月( )日
本評価：( )月( )日

班番号 ( ) 班 評価者氏名 ( )  
 ( ) 年 ( ) 組 ( ) 号 氏名 ( )

A2：先人の知恵を生かす（先行研究調査）

4	3	2	1
複数の先行研究を批判的に調べ、他者と協議し、結果の考察に生かすことができる。	複数の先行研究を批判的に調べ、その結果を仮説の設定、研究方法に活かすことができる。	先行研究を調べ、その中の1つの先行研究の情報を仮説の設定、研究方法に活かすことができる。	先行研究を調べているが、内容の解釈や分析が行えておらず、研究に活かされていない。
← A：先行研究を調べている →			
← B：1つの先行研究からの情報を、研究内容（仮説や研究方法の決定）に生かしている →			
← C：複数の先行研究からの情報を、研究内容に生かしている →			
← C：先行研究を批判的に調べている →			
← D：他者と協議し研究を改善する →			
← D：考察に先行研究を活用する →			

□ 仮評価：生徒のみなさんは下の質問①～⑤にそれぞれ「はい」「いいえ」で答えてください。「はい」の場合( )内に必要事項を記入してください。

■ 本評価：質問①～⑤を面接形式で質問します。生徒のみなさんは、質問に答えられるように準備をしておきましょう。

質問	質問内容	回答（「はい」「いいえ」いずれかを選択）	
①	先行研究（論文や予備調査※）を調べましたか。 ※課題を設定する根拠として実施する調査	はい 先行研究（論文や予備調査） （内容： )	いいえ →評価0
②	先行研究を自分の研究に生かせましたか。	はい	いいえ →評価1
③	複数の先行研究を自分の研究に生かせましたか。	はい （概要： )	いいえ →評価2
④	どのような先行研究を、どのように自分の研究に生かせましたか。1つ例を挙げ、具体的に教えてください。  ( ) (出典) の、( ) (内容) に関する先行研究を (内容) を、( ) に生かすことができた。		
⑤	先行研究の内容をもとに他者と協議し、考察に生かすことができましたか。	はい →評価4 （協議した人 : ) （考察にどのように生かしたか（説明）： )	いいえ →評価3
※評価者所見：			評価
※SSH 研究部所見：変更なし / 変更あり（理由： )			/4

【評価の流れ】 生徒が鉛筆で記入→面談にて評価者が赤で記入し、SSH 研究部に提出→SSH 研究部にて青で評価欄記入→指導担当者へ返却→生徒へ返却

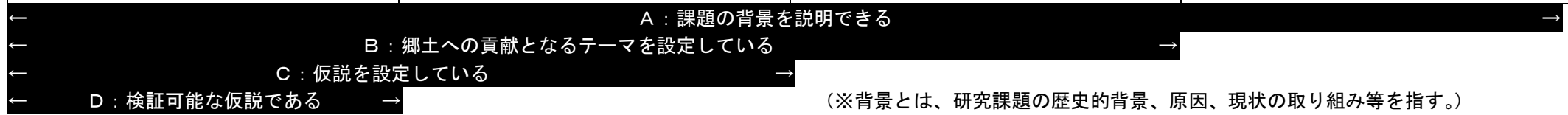
質疑による評価シート

仮評価：( )月( )日
本評価：( )月( )日

班番号 ( ) 班 評価者氏名 ( )  
 ( ) 年 ( ) 組 ( ) 号 氏名 ( )

A3：郷土貢献を踏まえた研究課題と仮説の設定

4	3	2	1
地域課題の背景を説明でき、郷土への貢献となるテーマを研究課題とし、検証可能な仮説を設定している。	地域課題の背景を説明でき、郷土への貢献となるテーマを研究課題とし、仮説を設定しているが、検証可能ではない。	地域課題の背景を説明でき、郷土への貢献となるテーマを研究課題としているが、仮説を設定していない。	地域課題の背景を説明できる。



(※背景とは、研究課題の歴史的背景、原因、現状の取り組み等を指す。)

□ 仮評価：生徒のみなさんは下の質問①～⑤にそれぞれ「はい」「いいえ」で答えてください。「はい」の場合 ( ) 内に必要事項を記入してください。

■ 本評価：質問①～⑤を面接形式で質問します。生徒のみなさんは、質問に答えられるように準備をしておきましょう。

質問	質問内容	回答（「はい」「いいえ」いずれかを選択）	
①	研究対象となる課題を教えてください。( )		
①	課題の背景を説明できますか。	はい (課題の背景(説明): )	いいえ →評価0
②	研究テーマは天草の抱える課題と関連がありますか。	はい (課題との関連(説明): )	いいえ →評価1
③	仮説を設定していますか。 (複数ある場合は、最初に検証する仮説を記入)	はい (仮説: )	いいえ →評価2
④	設定した仮説は数値を用いての検証が可能ですか。	はい	いいえ →評価3
⑤	どのような実験/調査を行い、仮説を検証するのか具体的に教えてください(実験または調査のどちらかのみ記入)。 →評価4		
	<実験の場合> ( ) を用いて、( ) を調べる実験を行う。 その結果を受けて、( ) を行い、仮説を検証する。		
	<調査の場合> ( ) を対象に、( ) に関する調査を行う。 その結果を受けて、( ) を行い、仮説を検証する。		

※評価者所見：

評価

※SSH 研究部所見：変更なし / 変更あり(理由: )

/4

【評価の流れ】 生徒が鉛筆で記入→面談にて評価者が赤で記入し、SSH 研究部に提出→SSH 研究部にて青で評価欄記入→指導担当者へ返却→生徒へ返却

質疑による評価シート

仮評価：( )月( )日
本評価：( )月( )日

班番号 ( ) 班 評価者氏名 ( )  
 ( ) 年 ( ) 組 ( ) 号 氏名 ( )

B1：情報収集の計画を立てる

4	3	2	1
具体的かつ適切な計画を立て、実験を行い、担当教員との議論を重ね、研究計画を再検討することができる。	具体的な計画を立て、実験(調査)の準備ができていて、担当教員と議論を行い、教員に実験(調査)目的を明確に答えられる。	具体性のある計画を立て、実験(調査)の準備ができていて、担当教員と実験(調査)目的の議論をしているが、目的を明確に答えられない。	計画を立てているが、不十分であり、具体的な実験(調査)の準備ができていない。
← A：計画を立てている →			
← B：実験(調査)の準備ができています →			
← C：実験(調査)目的について、教員の質問に答えられる →			
← D：研究計画を再検討できる →			

□ 仮評価：生徒のみなさんは下の質問①～⑤にそれぞれ「はい」「いいえ」で答えてください。「はい」の場合 ( ) 内に必要事項を記入してください。

■ 本評価：質問①～⑤を面接形式で質問します。生徒のみなさんは、質問に答えられるように準備をしておきましょう。

質問	質問内容	回答(「はい」「いいえ」いずれかを選択)	
①	実験(もしくは調査)の計画を立てましたか。	はい (計画している実験/調査(説明):  ) ※実験は「必要なもの+方法」調査は「対象+方法」を回答※	いいえ →評価0
②	実験(調査)の準備はできましたか。	はい ( (時期) ) に ( (場所) ) で実施予定	いいえ →評価1
③	担当の先生と実験(調査)目的について議論していますか。	はい	いいえ →評価2
④	実験(調査)目的を具体的に教えてください。	(実験/調査)目的:  )	
⑤	実験(調査)を行いましたか。	はい	いいえ →評価3
⑥	実験(調査)結果と、その後の計画を教えてください。	結果に応じた、今後の計画を教えてください。 →評価4 (今後の計画  )	いいえ →評価3
※評価者所見:			評価  /4
※SSH研究部所見: 変更なし / 変更あり(理由: )			

【評価の流れ】生徒が鉛筆で記入→面談にて評価者が赤で記入し、SSH研究部に提出→SSH研究部にて青で評価欄記入→指導担当者へ返却→生徒へ返却

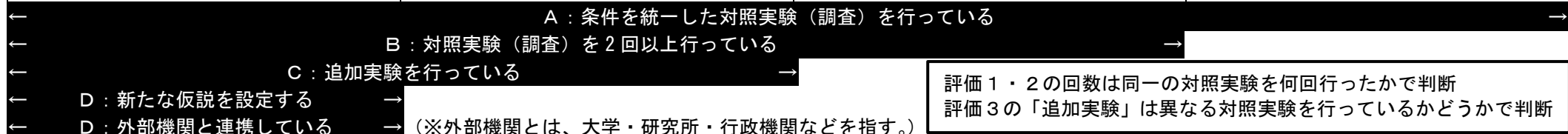
質疑による評価シート

仮評価：( )月( )日
本評価：( )月( )日

班番号 ( ) 班 評価者氏名 ( )  
 ( ) 年 ( ) 組 ( ) 号 氏名 ( )

B2：数値データを収集する

4	3	2	1
実験(調査)で得たデータを、外部機関と共有し、科学的分析を加え、新たな仮説を設定し、研究を継続している。	条件設定を統一した対照実験(調査)を、2回以上行い、その結果に応じた追加実験(調査)を行っている。	条件設定を統一した対照実験(調査)を、2回以上行った。	条件設定を統一した対照実験(調査)を、1回行った。



□ 仮評価：生徒のみなさんは下の質問①～⑤にそれぞれ「はい」「いいえ」で答えてください。「はい」の場合 ( ) 内に必要事項を記入してください。

■ 本評価：質問①～⑤を面接形式で質問します。生徒のみなさんは、質問に答えられるように準備をしておきましょう。

質問	質問内容	回答(「はい」「いいえ」いずれかを選択)	
①	対照実験※(もしくは調査)を行いましたか。 ※実験や調査での条件を一部分のみ変化させ(=その他の条件は統一)、条件による影響を調べる実験(もしくは調査)	はい ( ) ( ) と ( )	いいえ →評価0 (内容)に関して、 ( ) の条件を変えて実験/調査した。
②A or ②B	2回以上の対照実験(調査)を行いましたか。 20人以上にアンケートを実施しましたか。	はい (行った回数もしくは人数：( ) 回 or 人)	いいえ →評価1
③	計画になかった追加実験/調査(※)を行いましたか。 ※実験(調査)結果を受けて生じた新たな疑問の検証実験(調査)。	はい	いいえ →評価2
④	実施した追加実験(調査)について具体的に教えてください。  ( ) ( ) その結果、( )		(実験/調査結果)を受けて、 ( ) を行った。 ( ) が分かった。
⑤	外部機関と連携し、新たな仮説を設定できましたか。	はい →評価4 (連携した外部機関 : ) (新たな仮説 : )	いいえ →評価3
※評価者所見：			評価
※SSH研究部所見：変更なし / 変更あり(理由： )			/4

【評価の流れ】生徒が鉛筆で記入→面談にて評価者が赤で記入し、SSH研究部に提出→SSH研究部にて青で評価欄記入→指導担当者へ返却→生徒へ返却

質疑による評価シート

仮評価：( )月( )日  
 本評価：( )月( )日

班番号 ( ) 班 評価者氏名 ( )  
 ( ) 年 ( ) 組 ( ) 号 氏名 ( )

C1：数値データを処理する

4	3	2	1
他地域のデータとの比較によって自己の実験(調査)データを検証し、検証結果をグラフや図表などで視覚的にわかりやすいスライドやポスターをつくらることができる。	実験(調査)による数値データから導き出した考察をグラフや図表などを使って視覚的にわかりやすく他者に説明できる。	実験(調査)による数値データから導き出した考察を文章にまとめ、他者に説明できる。	実験(調査)による数値データを記録に取っている。

← A：数値データを記録にとっている →

← B-1：他者に説明できる →

← B-2：考察を文章にまとめることができる →

← C：考察をグラフや図表でまとめることができる

← D-1：他地域との比較で検証 →

← D-2：スライドなどを作れる →

評価2の「考察を文章にまとめ」は、メモ等でも構わない(傾向を読み取れていれば良い)。  
 評価4の「他地域との比較」は類似の研究との比較でも構わない。

□ 仮評価：生徒のみなさんは下の質問①～⑤にそれぞれ「はい」「いいえ」で答えてください。「はい」の場合 ( ) 内に必要事項を記入してください。

■ 本評価：質問①～⑤を面接形式で質問します。生徒のみなさんは、質問に答えられるように準備をしておきましょう。

質問	質問内容	回答(「はい」「いいえ」いずれかを選択)	
①	数値データを記録していますか。	はい ( ) ( )	いいえ →評価0  (実験/調査の内容) を行い、 ( ) のデータを記録している。
②	データからの考察を文章(Word・ドキュメント)でまとめることができますか。	はい	いいえ →評価1
③	データをグラフや図表(Excel・スプレッドシート)を使って、文章以外の方法で分かりやすくまとめることができますか。	はい ※作成したものに○  (円グラフ/棒グラフ/折れ線グラフ/その他( )/表)	いいえ →評価2
④	他地域のデータとの比較により得られた検証結果をスライド(PowerPoint・スライド)やポスター(Publisher・ドキュメント)でまとめることができますか。	はい ※作成したものに○  (スライド / ポスター)	いいえ →評価3
⑤	天草の研究結果と他地域とのデータを比較して分かったことを具体的に教えてください。→評価4  天草では ( ) ( ) (他地域) では ( )		であるが、 ( ) である。

※評価者所見：

※SSH 研究部所見：変更なし / 変更あり(理由： )

評価

/4

【評価の流れ】生徒が鉛筆で記入→面談にて評価者が赤で記入し、SSH 研究部に提出→SSH 研究部にて青で評価欄記入→指導担当者へ返却→生徒へ返却

質疑による評価シート

仮評価：( )月( )日
本評価：( )月( )日

班番号 ( ) 班 評価者氏名 ( )  
 ( ) 年 ( ) 組 ( ) 号 氏名 ( )

C2：考察し結論を導く

4	3	2	1
研究結果をもとにして1つ目の仮説の検証(考察)を他者と協働して行い、新しい仮説について検証できている。	研究結果をもとにして1つ目の仮説の検証(考察)を他者と協働して行い、さらに新しい仮説を見出すことができている。	研究結果をもとにして、仮説の検証(考察)を他者と協働してできている。	研究結果をもとにした仮説の検証(考察)ができていない。
← A：1つ目の仮説の検証ができている →			
← B：1つ目の仮説の検証を他者と行った →			
← C：新しい仮説を見出している →			
← D：新しい仮説を検証した →			

□ 仮評価：下の質問①～⑤にそれぞれ「はい」「いいえ」で答えてください。質問①及び「はい」の場合 ( ) 内に必要事項を記入してください。

■ 本評価：質問①～⑤を面接形式で質問します。生徒のみなさんは、質問に答えられるように準備をしておきましょう。

質問	質問内容	回答（「はい」「いいえ」いずれかを選択）	
①	最初に立てた仮説（1つ目の仮説）を教えてください。（ )		
①	仮説の検証を行いましたか。	はい (検証方法： )	いいえ →評価0
②	仮説の検証は他者と協働して行いましたか。	はい ※協働した「他者」に○ ( 班のメンバー / 指導担当者 / 外部機関の方 / その他 ( ) )	いいえ →評価1
③	他者との検証の中で出てきた意見を具体的に教えてください。  ( ) (他者) と協議する中で、 ( ) という意見が出た。		
④	新しい仮説(※)を見出していますか。 ※1つ目の仮説の立証の可否に応じて行った追加研究の仮説のこと	はい (新しい仮説： )	いいえ →評価2
⑤	新しい仮説を検証しましたか。	はい (検証の方法： )	いいえ →評価3
※評価者所見：			評価  /4
※SSH 研究部所見：変更なし / 変更あり（理由： )			

【評価の流れ】 生徒が鉛筆で記入→面談にて評価者が赤で記入し、SSH 研究部に提出→SSH 研究部にて青で評価欄記入→指導担当者へ返却→生徒へ返却

質疑による評価シート

仮評価：( )月( )日  
 本評価：( )月( )日

班番号 ( )班 評価者氏名 ( )  
 ( )年( )組 ( )号 氏名 ( )

D1：協働する（リーダーシップ or フォロワーシップを発揮する）

4	3	2	1
班内での役割を果たして活動をリード(サポート)するだけでなく、他の班にも研究についてのアドバイスができる。	役割を果たし、他者の考えも受け入れた上で自分の意見を述べ、改善した計画を率先してリード(サポート)することができる。	自分の役割を果たし、班員に対して計画の改善などの意見を述べるができる。	自分の役割を果たしているが、自身の意見を表現し伝えることができない。
← A：自分の役割を果たしている →			
← B：自分の意見を述べるができる →			
← C：班をリード（サポート）して行動できる →			
← D：他班へアドバイスできる →			

□ 仮評価：下の質問①～⑤にそれぞれ「はい」「いいえ」で答えてください。質問①及び「はい」の場合 ( ) 内に必要事項を記入してください。

■ 本評価：質問①～⑤を面接形式で質問します。生徒のみなさんは、質問に答えられるように準備をしておきましょう。

質問	質問内容	回答（「はい」「いいえ」いずれかを選択）	
①	研究活動でのあなたの役割を教えてください。	班長 / 班員 ※いずれかに○ (役割： )	
①	自分の役割を果たしていますか。	はい	いいえ →評価0
②	研究活動の中で、より良い研究とするために自分の意見を述べたことはありますか。	はい (述べた意見： )	いいえ →評価1
③	自分の意見によって改善された計画を実行する中で、リーダー（もしくはサポーター）として率先して活動した内容を教えてください。	( ) を担当し、 特に ( ) を率先して行った。 ※不十分な場合、評価2	
④	他の班に向けて、研究活動のアドバイスをすることができましたか。	はい	いいえ →評価3
⑤	アドバイスの内容を具体的に教えてください。 ( (他班の班名など) ) に対して、( ) の際に ( ) というアドバイスを行った。 ※十分な場合、評価4。不十分な場合、評価3		
※評価者所見：			評価
※SSH 研究部所見：変更なし / 変更あり（理由： )			/4

【評価の流れ】 生徒が鉛筆で記入→面談にて評価者が赤で記入し、SSH 研究部に提出→SSH 研究部にて青で評価欄記入→指導担当者へ返却→生徒へ返却



質疑による評価シート

仮評価：( )月( )日
本評価：( )月( )日

班番号 ( ) 班 評価者氏名 ( )  
 ( ) 年 ( ) 組 ( ) 号 氏名 ( )

D3：質問する

4	3	2	1
他の人の研究発表を聞き、自己の研究と絡めて疑問に思ったことについて質問することができる。	他の人の研究発表を聞き、グラフや表の数値に着目して疑問に思ったことについて質問することができる。	他の人の研究発表を聞き、疑問に思った用語について質問することができる。	他の人の研究発表を聞き、疑問に思ったことを熱心にメモすることができる。
← A：疑問に思ったことをメモする →			
← B：発表中の用語について質問できる →			
← C：発表中のグラフや表の数値に着目して質問できる →			
← D：自身の研究と関連させ質問 → ※関連＝具体的な内容だけでなく、研究手法や発表方法、留意点も含む。			

□ 仮評価：生徒のみなさんは下の質問①～⑤にそれぞれ「はい」「いいえ」で答えてください。「はい」の場合 ( ) 内に必要事項を記入してください。

■ 本評価：質問①～⑤を面接形式で質問します。生徒のみなさんは、質問に答えられるように準備をしておきましょう。

質問	質問内容	回答（「はい」「いいえ」いずれかを選択）	
①	他者の発表を聞いて疑問に思ったことをメモしていますか。	はい ( )	いいえ →評価0 (発表会等)の際にメモを取った。
②	他者の発表を聞いて疑問に思った用語について質問していますか。	はい ( )	いいえ →評価1 (用語)について質問を行った。
③	他者の発表の際、グラフや表の数値に着目して質問できていますか。	はい	いいえ →評価2
④	グラフや表について質問した内容を具体的に教えてください。  ( ) (他班の班名など) の ( ) のグラフ/表 に関して ( ) という質問を行った。		
⑤	自分自身の研究と関連させて(※)質問できましたか。 ※自身の研究でのエピソードを話した上での質問。内容の関連または実験方法、発表手法等に関するものでも可。	はい →評価4  自身の研究の ( ) と 関連のある、( ) という質問を行った。	いいえ →評価3  ※十分な場合、評価4。不十分な場合、評価3
※評価者所見：			評価
※SSH 研究部所見：変更なし / 変更あり（理由： )			/4

【評価の流れ】生徒が鉛筆で記入→面談にて評価者が赤で記入し、SSH 研究部に提出→SSH 研究部にて青で評価欄記入→指導担当者へ返却→生徒へ返却

質疑による評価シート

仮評価：( )月( )日
本評価：( )月( )日

班番号 ( ) 班 評価者氏名 ( )  
 ( ) 年 ( ) 組 ( ) 号 氏名 ( )

D4：英語を活用する

4	3	2	1
日本語非母国者と、英語で十分なコミュニケーションをとることができ、研究をさらに深めることができる。	英語での口頭発表に参加し、英語による質疑を正しく聞き取り、英語で適切な応答をすることができる。	英語での発表原稿作成や口頭発表に参加する(原稿を見ながらの発表でも良い)。	研究課題に関連した英語を習得し、英語でのスライドやアブストラクト作成に参加する。
← A：英語によるスライドやアブストラクト作成ができる →			
← B：英語による口頭発表を行うことができる →			
← C：英語による質疑応答ができる →			
← D：日本語非母国語者と質疑できる →			

□ 仮評価：生徒のみなさんは下の質問①～⑥にそれぞれ「はい」「いいえ」で答えてください。「はい」の場合 ( ) 内に必要事項を記入してください。

■ 本評価：質問①～⑥を面接形式で質問します。生徒のみなさんは、質問に答えられるように準備をしておきましょう。

質問	質問内容	回答(「はい」「いいえ」いずれかを選択)	
①	英語での研究発表スライドやアブストラクトを作成できますか。	はい ※作成済のものに○ スライド / アブストラクト / ポスター / その他 ( )	いいえ →評価0
②	英語による口頭発表を行うことができますか(原稿を見ながらも可)。	はい ※発表を経験したものに○ スライド発表 / ポスター発表 / その他 ( )	いいえ →評価1
③	英語による質疑応答した経験はありますか。	はい ( ) の際に英語での質疑応答を行った。	いいえ →評価2
④	英語による質疑応答で難しかったことや困ったことを具体的に教えてください。  ( ) の際、英語での質疑応答を行ったが、 ( ) が難しかった/困った。		
⑤	英語話者と英語で質疑応答した経験はありますか。	はい ( ) の際、 ( ) と英語での質疑応答を行った。	いいえ →評価3
⑥	英語話者との英語による質疑応答に備えて準備したことや、今後の質疑応答に向けて準備したいことを具体的に教えてください。  (準備したこともしくは準備したいこと  ( ) ※十分な場合、評価4。不十分な場合、評価3		

※評価者所見：

評価

※SSH 研究部所見：変更なし / 変更あり(理由： )

/4

【評価の流れ】 生徒が鉛筆で記入→面談にて評価者が赤で記入し、SSH 研究部に提出→SSH 研究部にて青で評価欄記入→指導担当者へ返却→生徒へ返却

質疑による評価シート

仮評価：( )月( )日
本評価：( )月( )日

班番号 ( ) 班 評価者氏名 ( )  
 ( ) 年 ( ) 組 ( ) 号 氏名 ( )

E1：提案を創造する

4	3	2	1
多くの先行研究や自身の研究成果を参考にして創造した地域への提案を応用して、海外への提案を創造する。	多くの先行研究や自身の研究成果を参考にし、今までになかった地域への提案を創造することができる。	多くの先行研究を参考にし、地域の課題解決のための今までになかった方法を創造することができる。	複数の先行研究を知識として習得し、その内容を分類・解釈しているが、自分の研究に活かされていない。
← A：複数の先行研究を自分の研究に生かしている →			
← B：課題解決のための新しい方法を創造できる →			
← C：地域への提案を創造できる →		↑ ※新しい方法＝研究成果を根拠とした課題解決法	
← D：海外への提案を創造できる →			

□ 仮評価：生徒のみなさんは下の質問①～⑤にそれぞれ「はい」「いいえ」で答えてください。「はい」の場合 ( ) 内に必要事項を記入してください。

■ 本評価：質問①～⑤を面接形式で質問します。生徒のみなさんは、質問に答えられるように準備をしておきましょう。

質問	質問内容	回答（「はい」「いいえ」いずれかを選択）	
①	複数の先行研究を自分の研究に生かしていますか。	はい 2つ記入：( ) と ( )	いいえ →評価0
②	地域課題解決のための新たな方法を創造できましたか。	はい 新たな方法：( )	いいえ →評価1
③	地域への提案を創造できましたか。	はい	いいえ →評価2
④	地域へ創造した提案を具体的に教えてください。  ( ) という結果をふまえ、( ) に関して ( ) という提案を創造した。 ※不十分な場合は評価2		
⑤	地域への提案を応用して、海外への提案を創造できましたか。	はい →評価4  ( (海外の国、地域) ) に対して ( ) という提案を創造した。	いいえ →評価3

※評価者所見：

評価

※SSH 研究部所見：変更なし / 変更あり（理由： )

/4

【評価の流れ】 生徒が鉛筆で記入→面談にて評価者が赤で記入し、SSH 研究部に提出→SSH 研究部にて青で評価欄記入→指導担当者へ返却→生徒へ返却

質疑による評価シート

仮評価：( )月( )日  
 本評価：( )月( )日

班番号 ( ) 班 評価者氏名 ( )  
 ( ) 年 ( ) 組 ( ) 号 氏名 ( )

E2：地域を創造する

4	3	2	1
海外の実情を調査し、自らの研究成果からの提言を海外に発信し、海外と連携して粘り強く研究を進めることができる。	実験(調査)を複数回行い、その結果を根拠とした提案を地域に発信し、地域と連携して粘り強く研究を進めることができる。	実験(調査)を複数回行い、その結果を根拠とした提案を地域に発信できる。	実験(調査)を複数回行い、その結果を地域に発信したが、提言するまでには至っていない。
← A：実験(調査)を複数回行い、結果を地域に発信している →			
← B：実験(調査)結果を根拠とした提案を地域に発信している →			
← C：地域と連携して研究を進めることができる →			
← D-1：提案を海外へ発信する →			
← D-2：海外との共同研究実施 →			

□ 仮評価：生徒のみなさんは下の質問①～⑤にそれぞれ「はい」「いいえ」で答えてください。「はい」の場合( )内に必要事項を記入してください。

■ 本評価：質問①～⑤を面接形式で質問します。生徒のみなさんは、質問に答えられるように準備をしておきましょう。

質問	質問内容	回答(「はい」「いいえ」いずれかを選択)	
①	実験(調査)を複数回行い、結果を地域に発信していますか。	はい 結果をどのように発信したか：( )	いいえ →評価0
②	実験(調査)結果を根拠とした提案を地域に発信できましたか。	はい 提案をどのように発信したか：( )	いいえ →評価1
③	地域(※)と連携して研究を進めることができましたか。 ※国内に存在する校外の団体や個人	はい どの団体や人と連携したか：( )	いいえ →評価2
④	連携内容を具体的に教えてください。 ※不十分な場合、評価2 研究の中の( ) ( )の部分において、 ( )という連携を行った。		
⑤	実験(調査)結果を根拠とした提案を海外に発信できましたか。	はい ※不十分な場合、評価3 ( (海外の国、地域) ) に対して ( ) という提案を行った。	いいえ →評価3
⑥	海外と連携して研究を進めることができましたか。 ※国外に存在する団体や個人	はい ※十分な場合、評価4 ( (海外の国、地域) ) の( )と ( )で連携した。	いいえ →評価3
※評価者所見：			評価
※SSH 研究部所見：変更なし / 変更あり(理由： )			/4

【評価の流れ】生徒が鉛筆で記入→面談にて評価者が赤で記入し、SSH 研究部に提出→SSH 研究部にて青で評価欄記入→指導担当者へ返却→生徒へ返却